



セルラーゲートウェイの設定

表 1: 機能の履歴

機能名	リリース情報	機能説明
セルラーゲートウェイの設定	Cisco vManage リリース 20.4.1	この機能では、サポートされているセルラーゲートウェイを IP パススルーデバイスとして設定するためのテンプレートを使用できます。このリリースでは、Cisco セルラーゲートウェイ CG418-E がサポートされます。

サポートされているセルラーゲートウェイを IP パススルーデバイスとして設定できます。設定されたデバイスを LTE 信号が強い施設内のエリアに配置することにより、信号をイーサネット接続を介して、LTE 信号が弱い場所にあるルーティング インフラストラクチャに拡張できます。

Cisco vManage でセルラーゲートウェイを設定するには、次の手順を実行します。

1. Cisco セルラーゲートウェイ CG418-E デバイスのデバイステンプレートを作成します。

『*Systems and Interfaces Configuration Guide*』の「機能テンプレートからのデバイステンプレートの作成」を参照してください。

機能テンプレートの説明を入力したら、次の手順を実行します。

1. Cisco vManage メニューから、**[Configuration]** > **[Templates]** を選択します。
2. **[Device Templates]** をクリックします。



(注) Cisco vManage リリース 20.7.x 以前のリリースでは、**[Device Templates]** のタイトルは **[Device]** です。

3. **[Create Template]** ドロップダウンリストから、**[From Feature Template]** を選択します。

4. [Device Model] ドロップダウンリストから、テンプレートを作成するデバイスのタイプを選択します。
5. [Cellular Gateway] > [Cellular Gateway Platform] > [Create Template] を選択します。次に、以下の表に示すように、セルラーゲートウェイプラットフォーム機能テンプレートを設定します。

表 2: セルラーゲートウェイプラットフォームテンプレートパラメータ

パラメータ名	説明
[Basic Configuration] タブ	
タイムゾーン	デバイスで使用するタイムゾーンを選択します。NTP が設定されている場合、デバイスはこのタイムゾーンをクロック同期に使用します。
管理インターフェイス	デバイスにアクセスするための管理インターフェイスの IPv4 アドレスを入力します。
Admin-Password	SSH クライアントまたはコンソールポートを使用してデバイスにログインするための管理者ユーザーパスワードを入力します。
NTP-Servers	デバイスがクロックを同期する 1 つまたは複数の NTP サーバーを設定します。
[Cellular Configuration] タブ	
IP-Src-Violation	対応する IP アドレスタイプの IP ソース違反機能を有効にするには、[v4 only]、[v6 only]、または [v4 and v6] を選択します。この機能を有効にしない場合は、[None] を選択します。
Auto-SIM	[On] を選択して、自動 SIM 機能を有効にします。この機能を有効にすると、デバイスは、デバイス内の SIM が属するサービスプロバイダーを自動的に検出し、そのプロバイダーに適したファームウェアを自動的にロードします。

パラメータ名	説明
Primary SIM Slot	デバイスのプライマリ SIM カードが挿入されるスロットを選択します。デバイスがこのスロットへのサービスを失った場合、セカンダリスロットにフェールオーバーします。
Failover-Timer (分)	デバイスがプライマリ SIM スロットへのサービス消失を検出してから、プライマリ SIM スロットとの通信を試行するまでデバイスが待機する分数を入力します。
Max-Retry	連続試行回数を入力します。デバイスがプライマリ SIM との通信にこの回数連続して失敗すると、セカンダリスロットにフェールオーバーします。

6. [Cellular Gateway] > [Cellular Gateway Profile] を選択し、[Cellular Gateway Profile] ドロップダウンリストから [Create Template] を選択します。次にセルラーゲートウェイプロファイル機能テンプレートを以下の表に示すように設定します。

表 3: セルラーゲートウェイプロファイルテンプレートパラメータ

パラメータ名	説明
[Basic Configuration] タブ	

パラメータ名	説明
SIM	<p>SIM スロットを選択し、次のオプションを設定して、このスロットの SIM のプロファイルを作成します。このプロファイルによって、SIM を接続するセルラーネットワークをサービスプロバイダーに示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Profile ID : プロファイルの一意の ID を入力します • Access Point Name : このプロファイルのアクセスポイントの名前を入力します • Packet Data Network Type : このプロファイルのデータサービスのネットワークタイプを選択します ([IPv4]、[IPv6] または [IPv4v6]) • Authentication : このプロファイルがデータに使用する認証方法を選択し、表示される [Profile Username] および [Profile Password] フィールドに、この方法のユーザー名とパスワードを入力します <p>デバイスの SIM スロットごとに 1 つのプロファイルを設定できます。</p>
Add Profile	<p>クリックして、セルラーデバイスがセルラーネットワークに接続するために使用するアクセスポイント名 (APN) プロファイルを追加します。</p> <p>最大 16 個のプロファイルを追加できます。</p>
プロファイル ID	<p>プロファイルの一意の識別子を入力します。</p> <p>有効な値 : 1 ~ 16 の整数</p>
アクセス ポイント名	<p>セルラーアクセスポイントを識別する名前を入力します。</p>

パラメータ名	説明
Packet Data Network Type	セルラーネットワークのパケットデータネットワーク (PDN) タイプ ([IPv4]、[IPv6] または [IPv46]) を選択します。
認証	セルラーアクセスポイントへの接続に使用する認証方法 ([none]、[pap]、[chap]、[pap_chap]) を選択します。
Profile Username	[none] 以外の認証方法を選択した場合は、セルラーアクセスポイントに接続するときに認証に使用するユーザー名を入力します。
パスワード	[none] 以外の認証方法を選択した場合は、セルラーアクセスポイントに接続するときに認証に使用するパスワードを入力します。
[Add	クリックして、設定するプロファイルを追加します。
[Advanced Configuration] タブ	
Attach Profile	デバイスがセルラーネットワークに接続するために使用するプロファイルを選択します。
Cellular 1/1 Profile	デバイスがセルラーネットワーク経由のデータ接続に使用するプロファイルを選択します。

2. デバイステンプレートをデバイスに添付します。

『*Systems and Interfaces Configuration Guide*』の「デバイステンプレートのアタッチとアタッチ解除」を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。